

第1 交通指導取締り

平成17年は、交通事故による死者数を265人以下に抑止することを目標とした交通指導取締り活動を推進した。特に、交通死亡事故の分析結果からその抑止を図るため、主原因となっている「飲酒、速度、信号無視、一時不停止等、悪質違反及び、被害軽減効果の高いシートベルト等」を重点違反と定め事故多発路線・時間帯における取締りを実施した。

なお、取締り総件数は、214,380件で、前年に比べ15,529件、6.8%減少した。

また、交通指導取締りに従事した警察官及び交通巡視員の総数は、246,811人であった。

1 指導取締り総件数

			平成17年	平成16年	増減数	増減率
車	反則	成人	121,848	125,840	-3,992	-3.2%
		少年	6,640	7,589	-949	-12.5%
		小計	128,488	133,429	-4,941	-3.7%
両	非反則	成人	8,746	9,112	-366	-4.0%
		少年	570	681	-111	-16.3%
		小計	9,316	9,793	-477	-4.9%
計			137,804	143,222	-5,418	-3.8%
点数告知件数			76,537	86,601	-10,064	-11.6%
軽車両・その他						
関係法令			39	86	-47	-54.7%
合計			214,380	229,909	-15,529	-6.8%
交通警告カード交付			13,048	17,477	-4,429	-25.3%

2 月別取締り状況

	総件数	合 計		成 人		少 年	
		反 則	非 反 則	反 則	非 反 則	反 則	非 反 則
1月	10,976	10,360	616	9,897	587	463	29
2月	11,364	10,757	607	10,202	572	555	35
3月	9,128	8,602	526	8,082	488	520	38
4月	11,498	10,619	879	10,057	838	562	41
5月	12,684	11,860	824	11,258	769	602	55
6月	12,302	11,486	816	10,878	753	608	63
7月	12,660	11,803	857	11,189	799	614	58
8月	11,524	10,961	563	10,366	513	595	50
9月	15,062	13,768	1,294	13,051	1,238	717	56
10月	10,834	10,225	609	9,721	554	504	55
11月	10,809	10,064	745	9,547	690	517	55
12月	8,963	7,983	980	7,600	945	383	35
合 計	137,804	128,488	9,316	121,848	8,746	6,640	570

関係法令違反・点数告知違反を除く。

3 主要違反態様別取締り状況

	平成17年	平成16年	増減数	増減率
無免許運転	1,400	1,623	- 223	-13.7%
酒酔い運転	50	74	- 24	-32.4%
酒気帯び運転	4,089	4,697	- 608	-12.9%
速度超過30km以上	3,737	3,308	+ 429	+13.0%
速度超過30km未満	52,337	46,950	+5,387	+11.5%
駐(停)車違反	4,782	7,879	-3,097	-39.3%
一時不停止	33,849	37,708	-3,859	-10.2%
信号無視	11,912	13,764	-1,852	-13.5%
積載物重量超過	147	197	- 50	-25.4%
整備不良車両運転	4,286	7,434	-3,148	-42.3%
追越・通行区分違反	5,159	7,233	-2,074	-28.7%
横断歩行者妨害	12	65	- 53	-81.5%
踏切不停止	1,023	1,577	- 554	-35.1%
右左折方法違反	10	17	- 7	-41.2%
シートベルト	72,778	82,514	-9,736	-11.8%

4 ダンプカーの取締り状況

違反種別		平成17年	平成16年	増減数	増減率
道	積載重量違反	83	140	- 57	-40.7%
	無免許・無資格運転	1	1		
	飲酒運転				
	最高速度違反	7	7		
	信号無視	35	31	+ 4	+12.9%
	通行禁止制限違反	31	39	- 8	-20.5%
	踏切不停止				
	整備不良車両運転	33	43	- 10	-23.3%
	通行区分違反				
	回転違反				
路	過労運転				
	追越し違反				
	割込み違反				
	歩行者保護義務違反				
	徐行場所違反				
	一時不停止	16	5	+ 11	+220.0%
	右左折方法違反				
	転落防止等措置義務違反	2	3	- 1	-33.3%
	その他	13	23	- 10	-43.5%
	合計	221	292	- 71	-24.3%

5 点数告知違反取締り状況

	総数	内数		
		運転者のみ	運転者同乗者	同乗者のみ
ベルト	72,778	72,712	64	2
ヘルメット	813	801	12	

	総数	内数	
		同乗者のみ	
		助手席	その他
チャイルドシート	2,946	2,001	945

6 違法駐車移動措置状況

	合 計	竜ヶ崎	土 浦
移 動 件 数	6		6

警察署管内。

第2 交通事故事件捜査状況

1 ひき逃げ事件発生状況

平成17年中におけるひき逃げ事件は、438件発生し、対前年比-32件であった。

死亡ひき逃げ事件については、17件発生し、対前年比2件の減少(-10.5%)であった。

(1) 死傷事件発生状況

		発生件数		前年対比	
		平成17年	平成16年	増減数	増減率
総件数		438	470	-32	-6.8
ひき逃げ	死亡	17	19	-2	-10.5
	重傷	30	46	-16	-34.8
	軽傷	391	405	-14	-3.5

(2) ひき逃げ事件発生検挙状況

平成17年			平成16年			増減数		
発生	検挙	検挙率	発生	検挙	検挙率	発生	検挙	検挙率
438	107	24.4	470	134	28.5	-32	-27	-4.1

7 暴走族取締り検挙状況

県内の暴走族は、週末を中心に周辺地域のグループが合同・連合化し、い集場所・走行時間・コース等を変えながら、依然として集団による爆音暴走を敢行しているほか、傷害や窃盗等の刑事事件を引き起こすなど、一段と悪質・凶悪化の傾向にある。また、一部暴力団が面倒見と称して暴走族に介入するなど、暴力団との結びつきを強め予備軍的存在となっている。

一方、筑波山周辺道路や港湾道路、工業団地内道路等でのドリフト・ゼロヨン・ローリングといった違法競走型の暴走族が週末に出没し、一般ドライバーや付近住民に著しい迷惑や危険を及ぼしている。

このため、毎週末や年末年始、ゴールデンウィーク期間等には、警察本部に「暴走族総合対策室」を設置して、強力な取締りを実施するとともに、関係機関・団体と連携した総合的な暴走族対策を推進した。

その結果、平成17年中、暴走族による共同危険行為等の禁止違反で18グループ、92人を検挙したほか、「茨城県暴走族等による暴走行為の防止に関する条例」(騒音を発生させる消音器等の譲渡禁止・消音器切断等の禁止)違反を適用して、暴走族構成員等5名を検挙した。

また、ローリング族やドリフト族等に対しては、運輸支局との連携による取締りや交通規制の他、道路管理者と連携した交通安全施設の設置など各種対策を講じた。

(1) 暴走族い集・走行状況

	い集 走行件数	参加人員	車両台数		合計
			二輪車	四輪車	
平成17年	145	4,062	2,574	68	2,642
平成16年	234	7,009	4,133	291	4,424
増減数	-89	-2,947	-1,559	-223	-1,782
増減率	-38.0	-42.0	-37.7	-76.6	-40.3

(2) 検挙状況

		平成17年	平成16年	増減数	増減率
交通 法令 違反	無免許運転	41	85	-44	-51.8
	整備不良	596	745	-149	-20.0
	共同危険行為	92	131	-39	-29.8
	道交法その他	290	187	+103	+55.1
	道路運送車両法	2	2	0	0
計		1,021	1,150	-129	-11.2
刑法 犯 等	暴行・傷害	3	5	-2	-40.0
	窃盗	11	13	-2	-15.4
	その他	6	11	-5	-45.5
		20	29	-9	-31.0
特別法犯		6	8	-2	-25.0
うち暴走族条例違反		5	6	-1	-16.7
		1,047	1,187	-140	+11.8

(3) 共同危険行為等の禁止違反事件検挙状況

	検挙事件	検挙・解体 グループ	検挙人員	押収車両		合計
				二輪車	四輪車	
平成17年	10	18	92	38	0	38
平成16年	7	31	131	60	0	60
増加数	+3	-13	-39	-22	0	-22
増減率	+42.9	-41.9	-29.8	-36.7	0	-36.7